

令和3年度 年次事業評価書 (評価対象年度: 令和2年度)

施設名: にっしん子育て総合支援センター

概要	施設所在地・所管課	日進市栄4丁目1002-2	所管課: 子育て支援課
	設置目的	施設管理運営事業、地域子育て支援拠点事業、子育て援助活動支援事業、利用者支援事業の4事業の運営	
	指定期間・選定方法	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日	選定方法: 公募
	指定管理者	所在地 団体名・代表者	日進市岩藤町陸見63番地 NPO法人ファミリーステーションRin 代表理事 小川 悦子

	令和元年度	令和2年度	前年度比
指定管理料(市委託料)	28,857千円	28,683千円	99.4%
利用料金収入	0千円	0千円	-
施設利用者数	24,441人	22,832人	93.4%

分類	評価項目	評価基準	評価点 (5~1点)
共通評価事項	1 法令等遵守	法令、条例、業務仕様書等に基づき、必要な施設の維持管理、点検、報告等が適切に行われている。	4点
	2 清掃業務	業務仕様書に基づき、清掃業務・維持管理が、適切に行われている。	4点
	3 保安警備業務	業務仕様書に基づき、保安・警備業務が、適切に行われている。	4点
	4 業務の委託	第三者への委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切に行われている。	4点
	5 業務記録	業務日誌及び点検、修繕等の履歴を適切に整備し、保管している。	4点
	6 職員の配置	必要な資格、経験を有するものなど、事業計画書に即し、人員を過不足無く配置している。また、従業員の労働条件、賃金水準が、適正に確保されている。	4点
	7 職員研修	施設の設置目的達成のために必要な研修・教育が、適切に行われている。	5点
	8 個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策を適切に講じられている。	4点
	9 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保され、また、マニュアルが整備されている。	4点
	10 施設利用の状況	利用者数や施設の稼働率は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4点
	11 利用促進業務	施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動が適切に行われ、その効果が認められる。	5点
	12 利用者支援業務	施設利用者が円滑に活動できるように、必要な指導・助言が適切に行われている。	5点
	13 モニタリング	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組が適切に行われている。また、事業報告書等による市への報告・説明が、適切に行われている。	4点
	14 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が、適切に行われている。	4点
	15 収支の状況	利用料収入は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4点
	16 予算執行	施設の事業収支は、適切な手続きに沿って執行されている。	4点
	特記事項	<p>標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由</p> <p>【7 職員研修】 今まで外部研修にスタッフを参加させていたものを、改め各事業において実施する講座をスタッフのスキルアップにも活用できるものへと再構築することで、自前でスタッフを育成する取り組みへと変更するとともに、参加しやすい環境づくりに努めているため。</p> <p>【11 利用促進業務】 コロナ禍での閉館期間中に自主事業としてInstagramをスタートし、週2回定期的に更新をしている。子育て中の忙しい時期に少しホッとできる内容や講座、子育て情報等を分かりやすくまとめて、視覚的に情報が届くように工夫をしており、Instagramを見て来館してくれた人もいた。また、秋にセンターHPを大幅にリニューアルを行って、内容を見やすくすると共にブログやカレンダーを適時更新し、必要な情報が手に入るようにした結果、休止期間中があるにもかかわらず、利用者数の減少を防ぐことが出来ている。</p> <p>【12 利用者支援業務】 身体計測日をきっかけに初めて来館する親子も多く、計測日は担当に関係なくスタッフで協力して対応にあたった。保育士を中心に来館者を見守り、声かけや関わりを行い、必要に応じてひよこテラスやファミサポ事業に案内するという流れができており、多機能型の強みを十分に発揮しているため。</p> <p>標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由</p> <p>その他特記事項</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う閉館時や感染予防から施設の利用を自粛されている方々に対してInstagramなどのSNSを活用して情報発信を行ったり、ホームページをリニューアルして情報発信に努めた点、保健センターが実施している乳幼児計測「おひさま広場」が新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となったことをうけ、利用者のニーズに応えるため子育て総合支援センターで実施している計測の回数及び時間を変更して実施した点は評価できる。</p> <p>(施設所管課) 改善に向けた助言等の内容</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、支援方法について試行錯誤を重ねながらの実施であった。しかし、現在も外出自粛により必要な情報を得ることができず孤立してしまっている家庭や施設を利用したくても来所する手段がなく利用できない家庭等もまだあるため、そのような家庭等への支援の在り方について、オンラインによる支援方法も含め引き続き検討していただきたい。</p>	

個別評価事項 (設置目的に応じた内容)	1 相談・支援業務	施設の設置目的を踏まえ、相談業務の体制の整備と実施及び必要な支援に取り組んでいる。		5	点
	2 情報の受発信	市民自治活動に関する情報の収集や発信に努めている。		4	点
	3 地域との連携	地域や関係団体等との連携や協働の推進に努めている。		4	点
	4 人材育成等	市民自治活動を担う人材育成に取り組んでいる。		4	点
	特記事項	標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由	【1.相談・支援業務】 コロナ禍が長く続くことによるストレスや不安を抱える親子に対して多機能型支援拠点としての特徴を活かし、支援センター内でひよこテラスを入口としてのファミサポ事業の預かりを増やすなど、必要な支援につなげることが出来ているため。		
	標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由				
	その他特記事項				
	(施設所管課) 改善に向けた助言等の内容	新型コロナウイルス感染症に伴い、子育て世帯においては、外出機会が減少することで気軽に子育てに関する情報交換を行うことが出来なくなったことで相談件数の増加につながっているため、気軽に相談できるよう努めるとともに、引き続き他機関と連携するなど多機能型支援拠点としての役割を活かした支援に当たられたい。			
総評	課題点に対する取組状況 ※昨年度指摘した課題は解消されたか。	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の閉館や利用について制限を設けるなど、施設管理者及び利用者双方に制限のある難しい状況の中、SNSやオンラインを活用して子育て情報の発信、講座を開催するなど、来館しなくても情報が得られるような取り組みが行われていた。 また、別冊ふあまっぶを作成するにあたり、受けられる支援を年齢ごとの時系列に標記するなど、必要としている人へ必要としている支援が届くよう利用者目線に立った取り組みがなされていた。		合計	84 点
	一年間の総評 ※点数では表すことができない、指定管理者の管理運営業務における創意工夫や改善等を幅広く記載する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、4月・5月は閉館するなど、今までとは異なる状況の中、職員間、関係機関等と連携を図りつつ、Zoomを活用した事業を行うなど運営に対して創意工夫がみられた。 また、誰もが経験のしたことのない事態に見舞われたことで子育て家庭からの相談が増加したが、相談の入り口をひよこテラスに統一し、相談内容に応じて連携、分担して対応することで多機能型支援拠点としての役割を活かした支援を行うことが出来た。 新型コロナウイルス感染症の状況下における事業運営での課題に対して、解決方法を検討し、次年度に実施しようとする取り組みについて評価することが出来る。		総合判定	A

判定基準	5点…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	4点【標準点】…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	3点…基本協定書等の内容は遵守されているが、これを上回る部分がなく課題の解消が必要な部分がある。
	2点…基本協定書等の内容を一部下回るものがあり、改善に対する課題がある。
	1点…管理運営が適切に行われたとは認められず、抜本的な改善を要する。

総合評価基準	S【優良】合計85点以上…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	A【良好】合計70点～84点…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	B【適正】合計60点～69点…一部に課題の解消が必要な部分があるが、概ね妥当である。
	C【改善】合計50点～59点…期待する水準を満たす状況になく、改善が必要である。
	D【抜本的改善】合計49点以下…期待する水準を大幅に満たしておらず、抜本的な改善が必要である。